知って得する 国保ひとくちメモ

「有効期限の切れた国民健康保険証」

コクホちゃん　ねえ、コクホくん。区役所から新しい国民健康保険証が送られてきたんだけど、有効期限が平成十四年十一月三十日までの古い保険証はどうすればいいの？

コクホくん　区役所に郵便で返却すればいいんだよ。区役所や最寄りの連絡所に出掛ける用事があるとき、返してもいいしね。

　区役所に返す保険証の色は、レモン色かラベンダー色だから間違わないようにしようね。

　それと今年の十月から医療制度が変わって、昭和七年十月一日以降に生まれた七十歳以上のお年寄りで、老人医療の適用を受けていない人には高齢受給者証が送られているんだ。この受給者証の有効期限は来年の七月三十一日までだから、間違って区役所に返してしまわないよう注意が必要だね。

コクホちゃん　あとね、うちのお姉ちゃんが今年の四月から東京の大学に行っていて、学と印刷されている遠隔地の保険証を持っているんだけど、その有効期限も十一月三十日で切れてるの。

　新しい保険証はどうしたらもらえるの？

コクホくん　前に在学期間の書いてある在学証明書を区役所に出している場合は、新しく送られてきた保険証を持って住んでいる区役所で手続きするといいんだ。そのとき、有効期限切れの保険証も一緒に持って行くといいね。

コクホちゃん　そっか。うちのお母さんは、お姉ちゃんの新しい保険証の手続きをまだしていないから、このことを教えてあげよっと。

コクホくん　それ以外の遠隔地の保険証も十一月三十日で有効期限が切れているから、新しい保険証が必要なときは、あらかじめ区役所の保険年金課に手続きの方法を聞いてみるといいね。

詳細　保険年金課保険係　☎(231)2400

中央区

歴史の散歩道

第87回

札幌市民の心に響く

時計台の鐘

〈わたしたちは、時計台の鐘がなる札幌の市民です〉市民憲章にもうたわれている時計台の鐘。その言い伝えを紹介します。

　札幌のシンボル・時計台は、明治十一年、札幌農学校（現北海道大学）の演武場として建てられました。時計と鐘が取り付けられ、札幌に時を告げ始めたのは、明治十五年八月のことです。

　『カーン、カーン』という少し甲高い独特の音を響かせる時計台の鐘は、東京・赤羽にあった工部省の工場で生まれました。出来上がってみると、当初注文されたものよりも大きかったため、建物を改築して取り付けられたともいわれています。

　この鐘には、実はちょっとした言い伝えがあります。

　鐘が工場で作られているときに、偶然、見学者が数人来ていました。その人たちは、今作っている鐘が蝦夷地の原始林の中に建てられた学校で使われると聞き、非常に驚いたそうです。さらに、時刻を知らせるだけではなく、将来、開拓の主力となって活躍する若い人の心を育てるためのものであると聞き、皆、大いに感動したそうです。

　その中に、特に感激した様子の若い女性がいました。女性は、従業員に「ぜひ、その鐘を鋳型に流し入れるところを見たい」と頼み込み、鐘の原料となるスズや鉛が真っ赤に溶けているつぼの前に案内してもらいました。そして、「この鐘が、札幌の人々の心を温め、励ます鐘になりますように」と祈りを込め、付けていた高価な指輪をその中に投げ入れたのです。指輪は、女性の見ている前でどろどろに溶け、しっかりと鐘と混じり合っていきました。

　鐘はその後間もなく出来上がり、無事、札幌農学校に送られてきました。そして、その祈りが届いたのでしょうか、百二十年以上たった今でも、札幌の街の中心で正確に時を告げ、私たちの心を魅了し続けているのです。

　昭和八年から親子二代で時計台の保守を担ってきた時計師の井上和雄さんは、幼いころからこの鐘の音がとても好きだったと言います。「周りに高層ビルが建ってから、音が届く距離は短くなりましたが、この音の魅力は変わりません。晴れた真冬、特に冷え込んだ日には、鐘の音も透き通るように美しく聞こえるんですよ」と、優しい笑顔で話してくれました。

時計台の鐘
高さ73センチ、底面直径71センチ、重量約226キロで、1時に1回、2時に2回と、時刻に応じて鳴ります
（札幌市時計台　所蔵）

創建百周年を迎えた時計台（昭和53年）
（札幌市写真ライブラリー　所蔵）